

〈もくじ〉

1. 第27回研究大会 [12月8日(土)、9日(日)京都大学] のお知らせ	1
2. 学会4賞の募集	4
3. ご報告・お知らせ	4

1. 第27回研究大会 [12月8日(土)、9日(日)京都大学] のお知らせ

1. 大会趣旨

「環境・エネルギー・震災復興とガバナンス」

本年度の国際公共経済学会第27回研究大会は、「環境・エネルギー・震災復興とガバナンス」をテーマに、12月8日、9日の両日、京都大学を会場にして開催されます。会員各位の積極的な参加を期待しております。大会テーマは昨年度から引き続き、3.11 東日本大震災と福島原発事故に伴う負の影響から立ち直り復興を果たしつつある日本の経済社会に焦点を当てます。特に環境・エネルギー政策と震災復興における新しいガバナンスの動向に着目した報告や議論を期待しています。東日本大震災・福島原発事故が企業や地域社会に大きな影響を与えたことはいまでもありませんが、震災復興への取り組みやエネルギー政策の再構築への動きも具体的なものになりつつあります。その過程で、従来から指摘されてきた日本の経済社会が抱える問題点に加えて、より複合的な課題に直面し困難な状況が生まれているようでもあります。しかし、同時に課題解決を目指すなかで各分野において新しいパラダイムが生まれようともしています。本研究大会が、震災復興と環境・エネルギー改革に見えるガバナンスの動向と課題を議論する場となるとともに、日本再生の手がかりを提示する知的貢献がなされることを期待してやみません。会員各位の自由な立場からの活発な議論への参加をお願い申し上げます。

第27回研究大会実行委員長 植田和弘 (京都大学)

2. 大会開催要領

日 程：2012年12月8日(土)～12月9日(日)

テーマ：「環境・エネルギー・震災復興とガバナンス」

会 場：京都大学吉田キャンパス (京都市左京区吉田本町)

3. 報告募集

(1) 共通論題・自由論題

- ・共通論題「環境・エネルギー・震災復興とガバナンス」：12月8日13:00～15:00（予定）
- ・自由論題：12月8日13:00～15:00（予定）

報告を希望される方は、**9月21日（金）**までに、「第27回大会報告希望」と明記し、①共通論題報告、自由論題報告の別、②報告テーマ、③報告要旨（1,000字程度）、④氏名・所属・連絡先（住所、電話、FAX番号、メールアドレス）を下記の学会事務局宛に電子メールかFAXでお送りください（書式自由）。

宛先 E-mail : japan@ciriec.com FAX : 03-3945-7415

(2) 奨励賞報告：12月8日10:00～12:00

大学院生（修士課程・博士課程）の学会発表について、数点に「奨励賞」を授与します。院生は、学会発表に際して、この賞への応募が前提になります。奨励賞に応募される方は、**8月31日（金）**までに、「奨励賞応募希望」と明記し、①奨励賞報告希望、②報告テーマ、③報告要旨（1,000字程度）、④氏名・所属・連絡先（住所、電話、FAX番号、メールアドレス）を下記の学会事務局宛に電子メールかFAXでお送りください（書式自由）。

宛先 E-mail : japan@ciriec.com FAX : 03-3945-7415

応募資格：大学院修士課程・博士課程およびそれに準ずる者

事前審査：**2012年8月31日（金）24時**までに1,000字程度の報告概要を提出

審査発表：2012年9月15日までに事前審査による学会報告の可否は、本人に通知します。

提出論文：本会投稿規定・要領（ニューズレター）による12,000字のフルペーパー

（9月15日に報告が認められた方のみ、論文を提出していただきます）

論文締め切り：**2012年10月14日（日）**（24時）

宛先 E-mail : japan@ciriec.com

（大学院生の報告は必ず奨励賞に応募してください。報告が認められた方は、10月31日までに報告概要（4,000字程度）の提出もお願いいたします。）

4. 大会プログラム（案）

【2012年12月8日（土）】

- | | |
|--|-------------|
| ◇第1セッション＜奨励賞報告＞ | 10:00～12:00 |
| ◇昼食・奨励賞審査 | 12:00～13:00 |
| ◇第2セッション＜共通論題報告＞＜自由論題報告＞＜若手シンポジウム＞ | 13:00～15:00 |
| ◇第3セッション＜分科会報告Ⅰ＞ | 15:10～17:10 |
| ・テーマ：「気候変動問題とエネルギー政策」
コーディネーター：森 晶寿（京都大学） | |
| ◇第4セッション（分科会報告Ⅱ CIRIEC International セッション） | 15:10～17:10 |
| ・「General Interest を満たす公共・社会的経済 —環境・エネルギーを中心に—」
コーディネーター：今村 肇（東洋大学） | |
| ◇懇親会 会費 5,000 円 | 17:30～19:00 |

【2012年12月9日（日）】

- ◇第5セッション<分科会報告Ⅲ> 10:00～12:00
 ・「震災復興と創造的地域社会」
 コーディネーター：若井郁次郎（大阪産業大学）
 パネリスト：加藤恵正（兵庫県立大学経済学部教授）
 岡田知弘（京都大学公共政策大学院・大学院経済学研究科教授）
 嘉田由起子（滋賀県知事）
- ◇第6セッション<分科会報告Ⅳ> 10:00～12:00
 ・「固定価格買取制度と再生可能エネルギー活用」
 コーディネーター：野村宗訓（関西学院大学）
 パネリスト：西村 陽（関西電力）
 山家公雄（エネルギー戦略研究所株式会社 取締役 研究所長） その他
- ◇昼食・理事会
- ◇第7セッション<分科会報告Ⅴ> 12:50～14:50
 ・「危機対応とガバナンス」
 コーディネーター：松原 聡（東洋大学）
 パネリスト：御厨 貴（放送大学） その他
- ◇第8セッション<共通論題シンポジウム> 15:00～17:00
 「環境・エネルギー・震災復興とガバナンス」
 コーディネーター：植田和弘（京都大学）
 パネリスト：各分科会のコーディネーター
- ◇総会・表彰式 17:00～17:20

5. 日程・会場

12月8日(土)

9:30	受付開始	
10:00	奨励賞報告	
11:45	昼食・奨励賞審査	
13:00	共通論題報告	自由論題報告 若手シンポジウム
15:00	会長挨拶・開催校挨拶	
15:10	分科会Ⅰ 「気候変動問題と エネルギー政策」	分科会Ⅱ 「General Interest を 満たす公共・社会的 経済 —環境・エネ ルギーを中心に—」
17:30	懇親会	

12月9日(日)

9:30	受付開始	
10:00	分科会Ⅲ 「震災復興と地域 社会」	分科会Ⅳ「固定価格 買取制度と再生可 能エネルギー活用」
12:00	昼食・理事会	
12:50	分科会Ⅴ「危機対応とガバナンス」	
15:00	共通論題シンポジウム 「環境・エネルギー・震災復興とガバナンス」	
17:00	総会・学会賞表彰	

2. 学会4賞の募集

本学会には、4つの学会賞があります。以下を参照の上、奮って応募ください。なお、審査の時間を確保するために、正式公募は4月に開始し、締切は賞により異なりますのでご注意ください。

なお、修士論文賞は、募集の日程等が変更になりました。2012年度に提出する修士論文が対象になります。このため、修士論文提出後に、それを12,000字にまとめたものを提出いただき審査いたします。論文提出締め切りは、2013年2月、発表・授賞は3月となります。提出先は、いずれも学会事務局です。

修士論文賞

修士論文を2012年度提出予定の大学院生の方に応募資格があります。応募者は学会員である必要はありませんが、学会員である指導教官の推薦が必要となります。対象者の方の応募を期待するとともに、修士論文を指導している学会員の先生方に、院生の応募を促していただきたいと存じます（推薦書はWebページにあります）。

優秀論文、4点を顕彰し、3月の研究会での報告を認めます。さらにその研究会でのプレゼンテーション評価を加えて、最優秀論文1点を顕彰します。詳細は、上記の規定を参照ください。

応募資格：上記の通り

提出論文：本会執筆要領（6頁）による、12,000字のフルペーパー（修士論文をまとめたもの）

締切：2013年2月10日（日）24時

宛先 E-mail：japan@ciriec.com

審査発表：2013年3月1日 事前論文審査の結果は、本人と指導教官に通知します。

奨励賞

大学院生（修士課程・博士課程）の学会発表について、数点に「奨励賞」を授与します。院生は、学会発表に際して、この賞への応募が前提となります。詳しくは2頁をご覧ください。

学会賞、尾上賞

例年通り、「学会賞」（若手の著作）、「尾上賞」（実績のある研究者の業績、学会活動への貢献）を募集します。

対象期間：2010年7月1日～2012年6月30日までに公刊された会員による著書等

締切：2012年8月31日（金）消印有効

応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等(1冊)を事務局宛てに郵送でお送り下さい。

3. ご報告・お知らせ

1. 第29回 CIRIEC 国際大会

日程：2012年9月12日（水）～15日（土）

開催場所：オーストリア ウィーン

テーマ：Public, social and cooperative economy meeting the general interest

「市民の基本的日常サービス需要を満たす公共・社会・協同的経済」

参加ご希望の方は、学会ホームページをご覧ください。すでに申し込みが始まっています。

2. 若手研究会報告

若手研究会は、3月17日東洋大学にて開催されました。以下の5つの報告と1つのシンポジウムがあり、非常に活発な討論が行われました。

◇午前の部 司会：楠田昭二（立教大学・早稲田大学）

(1) 10:00～10:40

「青少年のインターネット利用環境整備のための保護者に対するノンフォーマル教育政策の方向性についての検討」

報告者：齋藤長行（青山学院大学ヒューマンイノベーション研究センター）

討論者：藤井大輔（東洋大学）

(2) 10:40～11:20

「共有プラットフォームとしてのソフトウェア標準～W3Cにおける実装主義設計プロセスが形成するエコシステム」

報告者：深見嘉明（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）

討論者：山口 翔（立命館大学）

(3) 11:20～12:00

「中国銀行業の効率性の分析」

報告者：林 興（東洋大学大学院経済研究科博士後期課程）

討論者：牧野松代（兵庫県立大学）

◇午後の部 司会：桜井 徹（日本大学）

(4) 13:20～14:00

「公共財を対象とした政策における立案及び形成過程の転換について
—河川政策を事例に、国と地方の取組への調査から—」

報告者：戸田 香（神戸大学大学院法学研究科（政治学）博士後期課程）

討論者：花田真一（東京大学）

(5) 14:00～14:40

「アジア出身留学生の出身国における人間開発状況と日本への定着率との関係」

報告者：山田 航（兵庫県立大学大学院経済学研究科博士後期課程）

討論者：仲上健一（立命館大学）

(6) 14:40～16:30シンポジウム

「ガバナンスの創造—public/private概念の再構築と「新しい公共」」

司 会：松原 聡（東洋大学経済学部総合政策学科教授）

発表者：生貝直人（東京大学大学院学際情報学府博士課程）

西田亮介（東洋大学非常勤講師）

松原真倫（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程、日本学術振興会特別研究員DC1）

コメンテータ：松井孝治（参議院議員）

16:30～ 懇親会

3. 新入会員受付について

昨年度から、新入会員の受付方法が変わりました。学会ホームページでの申請が可能となりましたので、ぜひ新会員をお誘いください。

国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード（5語程度）を日・英文で明記する。また、英文要旨（5行程度）を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に（注1）のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1）、2）、（1）、（2）の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。
 - 著書（単独）の場合 執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
 - 著書（複数）の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
 - 論文の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出：メール japan@ciriec.com（Wordあるいは一太郎。PDFは不可）

☆学会情報は、最新のをホームページ <http://ciriec.com/>に掲載してありますので、適宜ご参照ください。